



CONTENTS

- 1 卒業特集
- 2 令和6年度卒業生の進路状況
- 3 専攻トピックス
- 4 令和6年度ニューファーマーズ研修修了トピックス
- 5 第1回合同就職相談会を開催、終業式を実施、令和7年度入学生への入学説明会を開催

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



祝 卒業



令和6年度愛知県立農業大学校

卒業に寄せて

卒業おめでとうございます。

皆さん、農大での2年間はいかがでしたか？充実した学校生活が過ごせましたでしょうか？

暑さや寒さに負けず専攻実習に取り組む様子、実習販売で自分たちの農畜産物をアピールする姿、農大祭や体育祭での生き生きとした表情など、様々なことが思い出されます。

皆さんは、専攻実習などの実践教育を通して、専門的な知識・技術や、科学的・論理的な課題解決能力を身につけ、農大祭などの学校行事を通して、チームワークやコミュニケーションの大切さを学び、同級生や先輩・後輩との共同生活を通して、自主性や協調性を養い、そして、多くの友人を得ることもできたと思います。

皆さんはそれぞれ新たな道に進みますが、卒業後もこの絆を大切に、うれしいことは共有し、困ったことは相談しながら、お互いに励まし合って進んでいってほしいと願っています。

自分の人生の中では、誰もが皆「主人公」です。本校の卒業生として、自信と誇りを持って、これからの人生を自らの手で切り拓いていかれることを心から祈念しております。

そして、皆さんに「農大で学んで良かった！」と思ってもらえれば、職員一同、大変うれしい限りです。ありがとうございました。



校長 恒川靖弘



教育部農学科の令和6年度卒業式を、3月7日（金）に中央教育棟大講義室で挙行之、86名が本校を巣立って行きました。

当日は卒業の門出を祝うかのような好天に恵まれました。厳肅な雰囲気の中で、卒業生は専攻実習や農家派遣実習、プロジェクト活動、海外派遣研修、体育祭、農大祭、学生寮での生活等、2年間の大学校生活の様々な思い出を胸に卒業式に臨んでいました。

式典では、卒業生全員が順に呼名され、恒川校長から卒業生総代の長谷川実穂さんに、卒業証書が授与されました。その後、成績優秀者や実習等に精励した者に対して、県知事賞や大学校長賞等の表彰が行われたあと、校長式辞に続いて、愛知県知事代理の犬飼峰宏農業水産局技監と柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。続いて、在校生代表として、露地野菜専攻1年の星井暁名さんが卒業生への送辞を述べるとともに、卒業生を代表して作物専攻の吉田勝哉さんが答辞を述べ、卒業式は閉式となりました。



卒業証書授与 卒業生総代 長谷川実穂

卒業式終了後は、学生会が主催する卒業パーティーが和耕寮食堂で開催され、軽音楽部による演奏やビンゴゲームなどを楽しみながら、先生方も加わってそれぞれが思い出を語り合う姿があちこちで見られました。

卒業生は、就農、就職、進学とそれぞれの道で羽ばたいてきますが、農大での学びを活かし、新たな道を歩んで行って欲しいと思います。



各賞 受賞者

優 秀 賞（愛知県知事賞）	
長 谷 川 実 穂	（養豚・養鶏）
優 秀 賞（大学校長賞）	
吉 田 明 実 果	（鉢物・緑花木）
永 田 大 和	（果 樹）
尾 崎 瞳	（露地野菜）
野 田 実 乃 里	（露地野菜）
精 励 賞（大学校長賞）	
山 口 颯 一	（鉢物・緑花木）
石 川 稜	（切 花）
左 右 田 耀 子	（作 物）
小 笠 原 泰 生	（果 樹）
鈴 木 爽 太	（露地野菜）
中 川 弘 貴	（施設野菜）
松 本 侑 馬	（酪 農）
森 響	（養豚・養鶏）
特 別 賞（大学校長賞）	
首 藤 理 杏	（果 樹）
佐 藤 明 日 美	（施設野菜）
中 村 花 和 子	（酪 農）
全国農業大学校協議会長賞	
吉 田 勝 哉	（作 物）
農業大学校同窓会全国連盟会長賞	
加 古 翔 佳	（露地野菜）



優秀賞(大学校長賞) 吉田明実果



全国農業大学校協議会長賞 吉田勝哉



農業大学校同窓会全国連盟会長賞 加古翔佳



送辞 在校生代表 星井暁名



答辞 卒業生代表 吉田勝哉



校長式辞(恒川校長)



愛知県知事祝辞(農業水産局 犬飼技監)



来賓祝辞(柴田同窓会長)

卒業パーティー(学生会)



農大の思い出

学生会会長 吉田 勝哉



2年間の専攻実習や学校行事などはもちろんですが、何よりも友人と一緒に過ごした寮生活が一番の思い出です。今まで当たり前であったこの農大での生活が終わるのはとても寂しいです。

農大で学んだことや経験したことを、これからの社会人としての生活にしっかりと活かしていきたいです。



鉢物・緑花木専攻 西尾 優大



2年間の学校生活はあっという間に感じるくらい毎日が楽しく、一瞬で過ぎていきました。毎日部屋に集まっていた仲間と学生の頃のようにもう集まることができないと考えるととても悲しいです。また専攻実習では仲間達と仲良く時には喧嘩しながら楽しく過ごすことができました。他専攻の人とも関わることがあり友達もたくさんできました。

学校生活で私と関わってくれた学生、そして先生方大変お世話になりました！ありがとうございました！



切花専攻 樋口 楓



農業大学校では、2年間を通して切花の栽培管理や出荷について学びました。仲間たちと協力して一生懸命こなした専攻実習や、農家の方と関わる他にない機会である農家派遣実習など、農大でしか体験できない充実した毎日を送ることができました。卒業してからも、この2年間で得た経験を活かして頑張ります。2年間ありがとうございました。



作物専攻 左右田 耀子



農業大学校では専攻実習や寮生活を通じ、たくさんの友人とかけがえのない時間を過ごすことができました。卒業後はみんな離ればなれになってしまうので、仲間たち、先輩方、先生方と出会えた農大の2年間は大切な思い出です。卒業後は専攻で学んだ知識や経験を生かして頑張っていきたいです。2年間ありがとうございました。



果樹専攻 小笠原泰生



農業大学校では、寮生活や専攻実習を通じて、かけがえのない仲間たちや先生と出逢えた最高な2年間でした。ここで得た知識、技術そして経験を今後の人生に生かせるよう尽力します。

素晴らしい2年間ありがとうございました。

露地野菜専攻 鈴木 爽太



農業大学校では、日々の実習や寮生活を通し責任感が大事だということを学びました。専攻長として視野を広く圃場全体を見ることで、同じ専攻の生徒に指示を出して作業を進めることができました。寮生活では、割り振られた当番をすることでみんなが気持ちよく生活できることを知れました。

この2年間で多くの人と出会い関わってきました。この関わりを大切に、これからも農業をする一員であり続けます。



施設野菜専攻 東本 恋佳



人との関わり大切さを学んだ2年間でした。寮生活や実習で過ごした友人との時間や先生から農業などについて教わった時間を通じて農業を学ぶことに加えて様々な見識が高まったのを実感しています。専攻実習でみんなと息を合わせて収穫調整や管理作業を行ったことはいい思い出になりました。皆さんありがとうございました。



酪農専攻 彦坂 宙



酪農専攻で学んだ2年間は大変なこともありましたが、得られることも沢山あり、楽しく実習ができました。

また、学校生活では最高の友達がたくさんでき、日常生活はもちろんですが東海近畿スポーツ大会やオーストラリア研修など本当に楽しい充実した2年間で過ごすことができました。一生忘れられない思い出です。農大に入って本当に良かったです。



養豚・養鶏専攻(養豚) 松井 幸生



農業大学校で得られた経験はここでは書ききれないほど濃厚でした。農業高校では先生が主となりついていくだけですが、農大は生徒が主となり自らが考え行動しなければなりません。大変なことだらけです。しんどい事もありますが頑張った分だけ立派になれます。農大で経験した二年間、これは私の礎となったことと思います。この先人生辛いこと、挫折することが多くあると思います。しかしそこで折れるのではなく、この経験を活かし、乗り越え、頑張っていきたいと思います。





ご卒業おめでとうございます

先生から卒業生へ



☆「笑顔、挨拶、信用」・・・充実した社会人生活のための必須アイテム。大切にしてください。（佐原茂樹）

☆これからも夢と希望を持ち続け、苦しい時は農大で頑張ったことを思い出してください。（酒井誠司）

学務

☆新しいステージでも農大で培った経験を糧に大いに活躍してください。（浅野将宏）

☆これから進む道はどんな道でも無駄になりません。それぞれが自分らしく輝きますように。（柳田美紀）

☆気さくに声をかけてくれる人が多くて楽しい時間を過ごすことができました。（宮本 憲）

☆皆さんの新天地でのご活躍を期待しています。（大見有紀子）

☆農大での学びを礎に、社会人としてのご活躍を祈念しております。（磯貝 勝）

☆それぞれの夢の実現に向け、頑張ってください。（坂口卓司）

花き

☆農大での経験、友人とのつながりを大切に、新生活で頑張ってください。（米倉 悟）

☆農大での絆は一生モノ。繋がりを大切にしながら新しい道を進んでください。（大橋博子）

☆農大での経験を活かして新生活も頑張ってください。（佐久真ひろみ）

☆遊び心があれば何でもできる！今後も、色々なことを楽しみながら学び続けてください。（原 知明）

☆仕事は真面目に、真剣に取り組んでください。（野田輝夫）

☆新しい生活は不安ばかりだろうけど、周囲に助けを求めながらいろいろチャレンジしてね！（犬伏加恵）

☆人生は山あり谷あり。寮生活での経験と知恵、仲間とのネットワークを活かして、乗り越えて行こう。（坂下 健）

野菜

☆農大での出会いを大切に、頑張ってね。農大祭遊びに来てね。待っています！（志知昭宏）

☆農大で培った根性と技術と遊び心をずっと忘れないでいてほしいです。（中嶋 譲）

☆社会にでても農大の知識、技術、経験、仲間を思い出して頑張ってください。（則竹伸哉）

☆農大で学んだ知識・技術はもちろんだけど、たくさんの経験や思い出、人とのつながりこそ大切にね！（嶋本千晶）

☆農大で出会いや経験をいつまでも大切にしてください。皆さんの活躍を期待しています！（小島優作）

☆農大での経験は何ものにも代え難いものです。いつも笑顔で明るく前向きに頑張ってくださいね！（金沢輝芳）

作物・果樹

☆皆さんが選んださまざまな進路でのご活躍を期待しています。（落合幾美）

☆作物専攻を卒業される皆さん、これからは頑張ってください。（黒野大稀）

☆果樹専攻を卒業される皆さん、これからも頑張ってください。（佐野達也）

☆新しい人生の門出を応援しています。たまには農大に顔を出してくださいね。（影山舞子）

☆農業の知識があれば最悪何かあっても何とかできます。強気に生きてください。（吉村颯季）

☆これから良くも悪くもいろいろあると思いますが、経験は力になります。ご活躍を期待しています。（鶴田瑞穂）

畜産

☆2年間楽しかったよ！自分以外の誰かやみんなのために全力で頑張れる強い大人でいてね。（齋藤 勉）

☆時間を守り、思いやりを持って、ポジティブな気持ちで楽しんでください。（豊島浩一）

☆妬まず、恨まず、自分と同じように他人を思いやるようにしてください。（鳥居雅樹）

☆振り返ると楽しい思い出が残っていると嬉しいです。人にも動物にも誠実に！（中村星太）

☆一度きりの人生。思いやりと優しさ、そして「つながり」を大切に。楽しい人生を！（春日井大輝）

☆向かい風が強い時もあるだろうが、明るい未来は「自分の手」で切り開こう。（柳澤淳二）

☆この15人で卒業を迎えることが出来て嬉しく思います！これからも仲間を大切に！！（井戸咲良）

機械 農業

☆農大で身に付けたことが、今後役立つことを祈っています。（本庄弘樹）

☆農大で学んだ技術をサラリーを得るだけでなく、地域社会への貢献や自然との共存に活かしてください。（水野英之）

☆農作業事故等気をつけて、今後のご活躍を期待しています。（大澤史季）

舎監

☆農大2年間で培った友情は一生の宝物、大切にしましょう。（辻 邦夫）

☆責任を持って自分の選んだ道を正解として下さい。（山下 篤）

☆先生達や友人との楽しい思い出を胸に、世界に羽ばたいてください。（田口延行）

☆社会人として新しい物語の始まりです、まずは肩の力を抜いて第一歩。（宇野滋晃）



令和6年度卒業生の進路状況

令和7年3月7日（金）、本校2年生86人が卒業しました。

今回、この86人の卒業後の進路についてご紹介します（3月15日現在）。

今年度はすべての卒業生が進路を確定することができています。

令和6年度卒業生の進路別の内訳は表のとおりです。

専業農家出身で卒業後即就農する者が6人で、卒業者に占める割合は7.0％でした。雇用就農する者は22人・25.6％で、近年は概ね20～30％の間で推移しています。この二つを合わせた就農者は28人・32.6％となりました。これに、将来就農する予定で一時就職する9人と、研修を受ける3人を加えると40人が就農予定で、就農率は46.5％となります。

また、就職51人・59.3％について、その就職先をみると、JA等21人、市場・流通関係6人、農業機械関係4人をはじめ、農業関連団体・企業に36人が就職し、公務員等2人となっています。

一方で、非農業関連も11人で、全体の12.8％を占めています。

来年度も引き続き、全学生が早期に希望進路を叶えられるよう支援してまいります。

表 令和6年度卒業生の進路別内訳

項 目		人数(人)
就 農	自営就農	6
	雇用就農	22
		51
就 職	うち一時就職	9
研 修		3
進 学		4
その他・未定		0
計		86

注) 就職のうち一時就職とは、専業農家出身者で来年度自営就農予定の者。

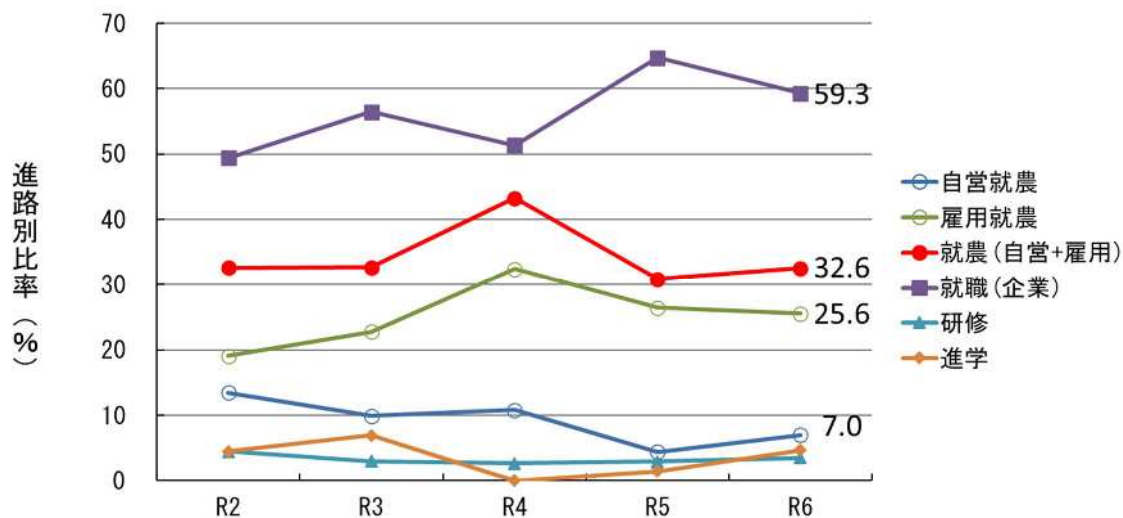


図 就農・就職率の推移(令和2～6年度)

専 攻 トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

（注）カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切 花	作 物	果 樹	露地野菜	施設野菜	酪 農	養豚・養鶏	計
1 年	6(0)	8(2)	6(1)	13(3)	13(4)	15(2)	9(4)	4(4)	74(20)
2 年	6(2)	5(1)	9(2)	15(5)	14(7)	14(3)	15(6)	10(3)	88(29)
計	12(2)	13(3)	15(3)	28(8)	27(11)	29(5)	24(10)	14(7)	162(49)



鉢物・緑花木

自分たちで底面給水装置を設置します！

鉢物・緑花木専攻は、温室を使用して栽培することが多いため、施設整備も重要な実習内容となります。この日は、温室内に底面給水装置（鉢の底から土壌に水を吸わせる装置）を新しく作るため、装置を設置できるよう既存の台を加工しました。

グラインダーという金属を切る道具を初めて使用した学生らは、火花が散るので緊張したと話していましたが、作業の完了に満足した様子でした。今後、この台に装置を設置し、真夏でも十分水を与えて花を育てていきます！



切 花

新年度に向けて、機械の整備も忘れずに

新年度に向けて、各品目とも、前作の圃場の片付けや次作の定植準備などを進めています。それと並行して、切花専攻で使っている動力噴霧器と運搬車の整備も学生にやってもらいました。

やることはエンジンオイルの交換とタイヤの空気入れだけなのですが、切花専攻では機械を扱う機会があまりないので、慣れない作業になるだろうと思っていました。しかし実際には、機械担当の先生の話をよく聞き、学生同士連携して手際よく作業を進めることができました。普段の実習で培ったチームワークが遺憾なく発揮された場面でした。

新入生の皆さんにも、扱いやすく整備された機械で、事故なく実習に取り組んでほしいと思います。





収穫の増加と1年生の成長

3月に入って日差しが強くなり、キャベツの出荷量が少しずつ増えてきました。今年度は、夏の高温、冬の低温と少雨の影響で、1月から3月中旬まで出荷できる野菜が少なかったですが、ようやく露地野菜らしい実習が増えてきました。

話は変わりますが、1年生後期の目標は「お互いに声かけができるようになること」でした。今までは目の前の作業に集中して周りの状況が見えてないこともありましたが、最近は互いに声をかけ状況を把握し、協力して効率よく実習を行えるようになりました。成長が著しくとても頼もしいです。

次の目標は、「自身の行っている作業を言語化し仲間や新1年生に説明できるようになること」です。これからも頑張ってもらいたい。



アールスメロン栽培が始まります！

施設野菜専攻では毎年、夏場のメイン品目としてアールスメロンを栽培しています。今年は最も早いハウスで7月上旬収穫を目標に2月下旬には種をしました。また、ほ場整備のため、学生がトラクターに乗って耕耘を行いました。ハウス内はやや難易度が高いですが無事に完了し、ほった様子でした。

前年のメロンは糖度不足なものやネットが上手に出ないものが多かったもので、見た目と味のどちらも追究して昨年よりも高品質なメロンを目指しています！



校外学習で大規模農家を訪問

3月上旬に校外学習として、服部農園有限会社を訪問しました。

乾燥施設や米の保管庫、作業場や直売所の見学を行い、現在の農家に求められる経済性の感覚など広い内容の説明をしていただきました。その中で学生たちは使用した道具類の整理整頓方法や直売所での米の販売方法に興味を示していました。

また、大規模農家の直売所やどのような加工品を作って販売しているかを見学することができたため、大変有意義な校外学習となりました。





開花期到来

果樹専攻では、品目ごとに開花の時期を迎えています。

現在、梅と杏がちょうど満開か少し過ぎたころといった感じ
です。来年度に向けての準備も一段落しているのでお花見なんかしたら楽しい
だろうなと思っています。

これからは4月中旬ごろまでに桃、梨、ブルーベリーの順番で開花していき
ます。桃と梨が開花すると花粉採取や摘花が始まり6月頃までまた忙しい時期
が続きます。いいスタートを決めるためにも誘惑に負けず、万全の状態で4月
を待ちます。



繁殖和牛の分娩が続いています

酪農専攻では、頭数は少ないですが繁殖和牛も飼養
しています。偶然にも全3頭の繁殖和牛の繁殖周期が
重なり、春にすべての分娩が予定されています。現在
までに2頭が無事に分娩を終え、2頭とも雄子牛が生まれました。2頭と
も繁殖母牛の後継を取りたいと思って授精したものだだったため、少し残念
でした。また次産に期待したいと思います。

和牛の分娩対応は、乳牛の場合と少し異なる部分もあります。本校では
和牛の場合、出生後の初乳を母牛から飲ませることとしていますが、今回
の2頭は両方とも上手に授乳ができず、人工哺乳となりました。こういった経験は乳牛のみを飼養して
いると経験できないため、繁殖和牛もしっかりと管理したいと思います。



秋ヒナが産卵を開始しました

養鶏専攻では春と秋の年2回、ヒナ
の入雛があります。昨年10月下旬に愛
知県の特産地鶏の名古屋コーチンを始め、ロードアイランドレッド（赤
玉鶏）や白色レグホーン（白玉鶏）、特殊鶏の烏骨鶏、アローカナ、地
元の「岡崎」の名前が付いた「岡崎おうはん」のヒナを導入しました。

学生はヒナから成鶏までの飼養管理、成鶏になってからの採卵、そ
して廃鶏にして肉になるまでの一連の流れを学びます。

春ヒナは2年生が中心となって管理しましたが、秋ヒナは1年生が主体となって管理をしています。
農家への派遣実習や様々な経験をして飼養管理技術が向上し、工夫を重ねながら飼養管理を頑張りました。
3月に入り秋に導入した鶏が産卵を開始しました。今後は実習販売で皆様に提供していきます。



令和6年度 ニューファーマーズ研修修了

令和7年2月27日（木）に令和6年度ニューファーマーズ研修の発表会と閉講式を開催し、20名全員が無事、研修を修了しました。発表会では研修生が今後の就農計画を発表し、いずれも就農に対する強い決意が感じられる素晴らしい内容でした。

研修修了後、研修生は各地域で就農し、農業者の新たな仲間となります。地域農業の担い手として活躍が期待されています。

なお、農業大学校では、来年度もニューファーマーズ研修を開講する予定です。引き続き専業農家として農業経営を目指す人材の育成を図ってまいります。

研修を修了して（研修生の声）

- ・たくさんの専門的な講義を受けて、就農に向けてやるべきことがわかったので、希望する作目での就農に突き進むことができました。
- ・研修を始めたときは将来の姿が描けなかったが、就農計画を作成して、就農する姿が具体的にってきました。
- ・研修生には社会経験の豊富な人もいたので、これからもその経験を教えてほしいです。
- ・同じ地域で就農する予定の研修生とは、研修中、大変仲良くしてもらったので、これからもこの関係を続けて、お互いがんばっていきたいと思います。
- ・何もわからないまま研修を始めましたが、仲間の一生懸命に取り組む姿を見て研修を続けることができました。この素敵な仲間と出会えたことが、一生の宝です。
- ・研修を開始した頃は体力がなく、昼には現地実習で疲れ、夜にニューファーマーズ研修の研修日誌や宿題に追われ、続けられるかとても不安な時期もありました。徐々に体力がついてきて、現地実習も続けられ、就農計画も完成させることができてよかったです。
- ・研修生全員が参加するLINEグループを作りました。同期ががんばっているのを見るとこちらも励みになります。



トピックス

第1回合同就職相談会を開催しました

2月27日・28日（木・金、全課程対象）、3月11日（火、畜産課程対象）に合同就職相談会を開催し、70人の学生が参加しました。

合同就職相談会は、本校学生に求人を希望する企業・団体が参加して、採用担当者から直接説明を聞くことができる機会です。例年3月と6月の2回開催しています。

今回は、3日間で50の企業等の参加を得て開催することができました。相談会では参加した学生からの質問も多く、積極的な姿勢が見られました。今後、就職活動に本格的に取り組めます。



全体説明の様子



企業等との個別相談の様子

令和6年度終業式を行いました

3月14日（金）、令和6年度最後の終業式を行いました。

1年生のみの式となりましたが、この1年、農大での様々な経験を経て入学時とは見違えるほど成長しました。

恒川校長からは、「これからは、学習や実習、余暇の過ごし方など先輩としての自覚を持ち、新入生を引っ張ってほしい。また、2年生は卒論や進路など多忙となるが、1年後に後悔することがないよう、いつまでに何をすべきか計画的かつ着実に取り組んでほしい」との講話がありました。



令和7年度入学生の入学説明会を行いました

3月19日（水）に、令和7年度教育部農学科入学説明会を実施しました。本校の定員は100名ですが、志願者106名から選抜された92名が入学予定となっています。

酒井教育部長からは、「新しい学びの場である本校で多くのことを学び、多くの友人を作り、素晴らしい学生生活を送ってほしい」とのお話がありました。

また、和耕寮で過ごす舎室や寮内施設を見学しました。

新入学生や保護者からは、新年度からの農大での学びや生活に大きな期待と決意の表情が窺えました。

